

校長室より

「天空高き」



第95号



平成29年4月14日

異文化体験—姉妹校ポールケイン高校短期留学を終えて—

昨年の7月にはポールケイン高校からノール校長先生・ローラ先生そして生徒7名を迎え、本校で学校交流を深めました。今回は本校から、ケイト先生と生徒7名(高1—4名、高2—3名)が、3月14日～24日の日程でカナダポールケイン高校を訪問し、短期留学を行いました。

3年前、ポールケイン高校とは、架け橋プロジェクトが縁で姉妹校提携をし、平成28年度にお互いに第1回の短期交流研修プログラムを実現することが出来ました。

今年度は9月19日～25日の日程で、もう1校の姉妹校であるオーストラリアのサザンクロスC.Cから先生3名と生徒12名が来校し、短期交流研修プログラムを実施する予定です。

コミュニケーションのスタートは、明るい元気なあいさつを交わすことからです。本校にはカナダ出身のケイト先生がいらっしゃいます。校内で出会ったら積極的に英会話にチャレンジして下さい。ケイト先生はきっと笑顔で「Hi!」と答えてくれます。大事なのは一歩を踏み出す勇氣です。

今回派遣された、六年制普通科2年岡崎秀介君のレポートを紹介します。出発から、帰国までのことを詳しく、そして自分なりのコメントを入れながら丁寧に綴っています。

彼らが素晴らしい体験をしたことが分かります。彼らは心の財産を増やすことが出来ました。今度は皆さんの番です。



カナダ・ポールケイン高校に短期留学して学んだこと

2017年 4月 3日
六年制普通科2年 岡崎 秀介

1. はじめに

今回3月14日から24日まで高水高校の姉妹校であるカナダ、アルバータ州のポールケイン高校に10日間短期留学するという大変貴重な体験をさせてもらいました。以下この体験について報告します。

2. 概要

(1) 3月14日(1日目・2日目) 岩国からエドモントンへ。

経路は(岩国→羽田→成田→バンクーバー→エドモントン)。バンクーバー空港に行くまでのフライトでは、窓からロッキー山脈が見えて、とてもきれいで感動した。着いた当日、17時くらいに到着したのでホテルにチェックインし、SwissChaletという店で夕食を取った。そこの店員の方と日本の話などして、会話が弾んで楽しかった。その後ホテルに戻り睡眠をとった。

(2) 15日(3日目) ポールケイン高校に初めての訪問。

翌朝9時くらいにホテルをチェックアウトし、バスでポールケイン高校へと向かった。高校に着き、バスを降りると、私たちのバディとなる7人が「ようこそ」と書いてある看板を持って温かく迎えてくれた。

私のバディはCaelanで私と背が同じくらいだった。その後、皆のバディたちとアイスブレイキング的な遊びをした。その後ポールケイン高校の授業に参加した。日本語授業の時、下書きを見ずに考えて日本語が話せていたのですごいと思った。その後Caelanと映画の授業を受けた。

学校が終わった後、Caelanのお父さんが迎えに来てくれて家に連れて行ってもらった。家がとてもきれいでびっくりした上に、とても親切にしてくれてうれしかった。家に着いてから、日本から持ってきたお土産を渡した。とても喜んでもらったので良かった。その後、図書館に連れて行ってもらった。行く途中、川が凍っていたのでびっくりした。帰って夕食はチキンを食べさせてもらった。ホームステイ先の家で寝たがとてもよく寝ることができた。



(3) 16日(4日目) ポールケイン高校で授業を受ける。

この日は、授業を受けて、バスで帰るといったように、本当にポールケイン高校の生徒になったみたいで楽しかった。数学の授業で先生が因数分解と漢字で書けていたのでびっくりした。この日の夕食は僕がお土産として持参した、ちらし寿司をつくっ

てあげた。皆がおいしそうに食べ、特に **Caelan** の妹がおかわりするぐらいに喜んでくれたのでとても嬉しかった。夕食後、アルバータ州の政府の建物を見に連れて行ってもらった。

(4) 17日 (5日目) ジャスパーへ。

私たち高水高校の生徒たちとそのバディ達でジャスパーに行った。ジャスパーはロッキー山脈のふもとの町で、バスでとても時間がかかる場所だったので、**Caelan** と沢山話す機会ができ良かった。またほかの人のバディとも話す機会が持てて結構仲良くなれた。途中で野生の羊を見ることができて良かった。この日は外で雪で遊んだ。こんなに積もることがないのでとてもいい経験になった。夕食はピザレストランに行ってピザを食べた。その後ダークスカイストーリーというジャスパーの昔話を聞いた。

(5) 18日 (6日目) ジャスパーでスノーシューなどの体験。

午前中はスノーシューをした。アイゼンみたいな靴を履いて凍った川の上を歩いたりした。日本では絶対にできないのでとてもいい経験になった。昼はバスでサンドイッチを食べた。午後は、ジャスパーのホテルの中のショッピングモールに行き、卓球やビリヤードをした。ビリヤードのルールがわからなかったので教えてもらった。その後ジャスパーの町でショッピングをした。キャンディショップに行って面白いグミを買った。この日の夜は村上君のバディの **Grant** と一緒に話して、とても楽しかった。

(6) 19日 (7日目) アルバータに帰る。

ジャスパー最後の日で午前中すこしショッピングをしてアルバータに戻った。3時ころに着き、夕食は **Caelan** の祖父母の家で一緒に食事をした。大変親切にしてもらった。祖父母と別れるときに、ハグを交わし泣きそうになってしまった。

(7) 20日 (8日目) ポールケイン高校での授業と、高水に来た元高校生との再会。

スペイン語の授業では全くわからなかったが班が同じだった人と **Instagram** を交換できたりしてとても良かった。日本語の授業では日本語でプレゼンをしてくれとても素晴らしかった。ロック&ポップミュージックの授業では実際に曲を弾いて、とても上手くてびっくりした。この日は短縮授業だったらしく早く授業がおわったので **Caelan** と一緒に北アメリカで3番目に大きいショッピングモールにいった。中にアシカショーをするところもありびっくりした。その後7月に高水に来た元ポールケイン高校の生徒たちとボーリング場で会う機会があった。久しぶりに再会でき、たくさん話せたので良かった。みんなほんとに大人になっていて驚いた。



「スポーツ医学」授業



「スペイン語」授業



「ヨーガ」授業

(8) 21日(9日目) バディたちと過ごせる最終日。

ポールケイン高校で授業を受けた後、夕食兼のサヨナラパーティーをした。最初は話しながら楽しめていたが、別れ間際になってスライドショーが流れ始めた辺りから悲しくなってきた。会が終わったころには涙を抑えることのできないほどになってしまった。分かる直前にはバディ全員とハグできたし、Caelanの親御さん方、妹、弟ともハグできた上、Caelanは3回もハグしてくれて本当に嬉しかった。

(9) 22日(10日目) カナダ最終日。

15時発の飛行機でエドモントンから成田まで9時間かけて戻ったのだが、飛行機が遅れてしまって岩国行きの飛行機に間に合わなかったため、成田のホテルに一晚泊まった。

(10) 24日(11日目) 東京から岩国に戻った。

3. まとめ

今回の短期の交換留学を通して、まず、第一にカナダの文化や歴史、人々にふれることができ、本当に人生のいい経験ができて良かった。初めての海外での授業でとても心配だったが、英語での授業を受けることで、留学したらこんな感じになるのだというとてもいい経験ができたのでとても良かった。英語を流暢に話せない私にカナダの人々皆さんがとても親切に接してくれたので、「海外」という恐怖が一切なくなった。しかし、自分の英語力の至らなさに気づき、がっかりしたが、自分の気持ちを伝えるためにはとにかく片言でもいいから英語を話すことが大切だと分かった。伝わった時の嬉しさも、伝わらなかった時の自分の無力さもとても自分にとって大切な思い出になった。



このプロジェクトを企画して下さった先生方、勇気付けてくれた友人たちの協力があったからこそ、カナダに行くことができたと思う。またカナダではホームステイを親切に受け入れてくれた Scott Family いつも僕の助っ人としてそばにいてくれた Caelan、ポールケイン高校の生徒たち、先生方、自分の家族も含めて、いろんな人のお陰だと思う。

この短期留学研修を一生の宝にしたいと思う。また、この経験を将来生かしたいと思う。